

ゆめ・みらい百人会議 第2期

教育・文化・健康・福祉分科会 教育分野に関する提言

2018年1月28日
望月雄二

1

島田市の社会教育について

教育とは

- ・フォーマル教育（主に学校教育）
- ・ノンフォーマル教育（主に家庭教育）
- ・インフォーマル教育（主に社会教育）に分類される

社会教育とは

地域のみんなで、地域の宝である子供達を育てる
学校や家庭では教えられない、生きていく力や社会性
を育む。学校での様々な学習の基礎となる力を養う。
主に地域のボランティアにより支えられている

2

社会的背景

昔： 近所の子供達で遊ぶ

今： 近所に同年代の子供がいない

昔： トラブルは近所の大人同士で話し合い解決

今： 地域のコミュニケーション欠如し、直接行政に相談
→子供の遊び場の立ち入り禁止処置など

昔： 放課後は子供達だけで遊んだり、宿題したり

今： 子供だけで遊ばせない。塾など習い事多数

子供達が遊びから社会性を学ぶ場の減少

対策

あるべき姿：子供達が遊びの中で自ら育む環境



ギャップ=問題

現状： 子供だけでは遊ばせられない安全性
多忙な学校行事による機会の減少

問題解決のための対策案

地域の社会教育団体による子供の活動の場を充実させる

大人が安全に配慮しながらも子供達の自発的な活動を促す場を提供

対象：ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団、子供会、
その他市民ボランティアによる各種文化活動など

問題点

①活動に参加できない

部活動や補講などで学校休日の日でも
社会教育活動に参画できない

②団体からの募集活動が効率よくできない

市の青少年全体へ活動紹介したり、募集
活動をすることができない

③市民が各種団体の情報を得られない

どこに問い合わせればよいかわからない。
社会教育団体の情報が一元化されていない

5

提言

①市の方針による活動機会の提供

毎月第3日曜の家庭の日は家族や友人、社会活動へ参加することを奨励するため、市および教育委員会から小中学校へ、部活動や学校行事を行わないよう指導する

②市から学校側へ活動紹介の場の設置働きかけ

地域の社会教育活動団体が市民向けに活動紹介および募集活動する催しを、教育委員会主催で学校や公民館など年数回設ける

また、各団体のチラシ類を教育委員会を通じて小、中学校にて全生徒(児童)へ配布できるよう学校側と調整する

③市教育委員会のHPに情報一元化

各種社会教育団体のHPリンク、問合せ先などを市HPに掲載する。